



西村証券

チーフストラテジスト
門司総一郎の

ウィークリーレポート

2022年
10月3日
発行

第150回

「大詰めを迎えたウクライナ戦争」

～国民国家は強かった～

初めに

ウクライナ戦争が大詰めを迎えています。今年2月に戦争が始まった時にはロシア勝利という見方が大半だったと思いますが、徐々にウクライナが巻き返し、今ではウクライナ優位という状況です。自分は、年内にもウクライナ優位のまま戦争は終了する可能性が高いと考えています。今回は、今後の見通しや、この戦争が世界経済、国際政治に与える影響などについてお話しします。

ウクライナ勝利の3つの理由

劣勢が見込まれたウクライナが逆に優位に立っている理由は3つあります。①自国を守るのだという国民国家の兵士ならではの意気込み、②敵国に長期遠征することになったにも拘わらずロシアが補給を疎かにすると言う愚を冒したこと、③西側、特に米国による武器・情報の支援、です。ロシアは状況打開のため、占領したウクライナ領で帰属に関する住民投票を行いましたが、国連安全保障理事会に住民投票は違法とする決議案が提出されるなど、国際的に理解を得るのは難しそうです。

揺れるプーチンへの信任

一方、ロシア国内ではプーチン大統領に対する信任が揺らいできています。理由は予備役の召集です。ロシア国内では情報統制により戦況はロシア優位と報じられていたようですが、予備役召集によって国民の間でも戦争は上手くいっていないのではないかという見方が広まりました。さらに、予備役から逃れるために国外脱出の動きが広がるなど、プーチン氏の指導力に赤信号がともった状況です。プーチン氏は苦境に陥った、と言えるでしょう。このような状況から、ロシアは戦争を続けることは難しく、年内にもウクライナ優位のまま終戦となる可能性もあると見ています。

ウクライナ戦争の影響

ここからは、世界経済や金融市場に与える影響についてお話しします。まず、経済への影響です。世界全体では依然インフレが大きな問題ですが、戦争が終わればロシアへの経済制裁の解除や穀物流通の正常化などが期待できます。これはインフレを抑える力になると思います。また、株式市場にとっても好材料であり、低迷する株式市場が浮揚するきっかけになるでしょう。国際政治にも影響を与えそうで、各国で安全保障重視の機運が高まるのは間違いないでしょう。いろいろ述べてきましたが、この戦争が一刻も早く終わるよう祈っています。



チーフストラテジスト
門司さんにきいてみよう!



西村証券株式会社 NISHIMURA SECURITIES Co., Ltd.
京都市下京区四条通高倉西入立売西町65番地(本社)
TEL:075-221-9390(本店営業部)

金融商品取引業者 近畿財務局長(金商)第26号
加入協会:日本証券業協会 主な事業:金融商品取引業
指定紛争解決機関:特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター

本書面は特定の金融商品の勧誘を目的として作成したのではなく、あくまで情報提供を目的とした書類です。書面上の株式市場見通し等は、本書面作成時の当社予想ですが、その後の市場動向・結果・影響等について当社が保証または責任を負うものではありません。また内容については予告なしに変更される場合もあります。本書面の著作権は当社に帰属します。当社の文章による承諾なしに、第三者への配布・コピー等のご遠慮ください。